

【全体概要】

飼料用米を給与して生産された鶏卵の品質を明らかにするとともに、本県特産鶏「名古屋コーチン」に適した飼料用米給与技術を確立する。また、飼料用米育ちの鶏卵を魅力ある産地特産品へと発展させ、消費者に広く認知されることを目指す。

新品種・新技術等の概要

○2015年度版「飼料用米の生産・給与技術マニュアル」
(国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構発刊)

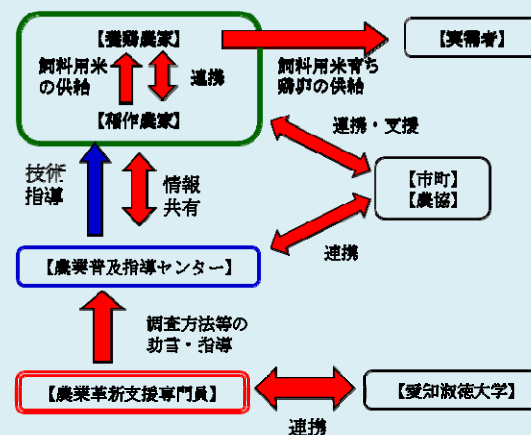
採卵鶏に関する飼料用米給与技術
新たに以下の内容を追加(2013年度版と比較)

- ① 飼料用米を用いた卵重調整技術
- ② 飼料用米に含まれる機能性成分を利用した鶏卵生産

主な取組内容

- 飼料の栄養水準と飼料用米配合割合の調査(9~12月)
- 名古屋コーチンとその他の鶏種について、飼料用米給与による産卵成績、卵質と卵殻質、機能性成分(脂肪酸組成、ビタミンE)への影響を2か所で調査(4~12月)
- 飼料用米未利用農家の意識調査を6地域で実施(6~12月)

コンソーシアム候補の体制図



- 【農業革新支援専門員】
 - ・実施計画の作成、運営
 - ・各種検討会の開催
- 【普及指導センター】
 - ・現地実証の調査
 - ・各種検討会での実施状況報告
 - ・飼料用米利用拡大に向けた課題調査
- 【養鶏・稲作農家】
 - ・飼料用米の生産と利用
- 【市町・農協】
 - ・飼料用米生産・利用への支援
- 【実需者】
 - ・飼料用米育ちの卵の活用
- 【愛知淑徳大学】
 - ・販売戦略及び地域活用に係る助言

課題と今後の対応

【実証結果の概要】

- 産卵成績、卵質と卵殻質については、週齢に伴う通常の変化に対して、飼料用米の影響は見られなかった。
- 脂肪酸組成については、不飽和脂肪酸が増える傾向にあり、ビタミンEは飼料用米給与により増えた。
- 飼料用米を使わない理由は、生産者とのつながりがないこと、保管場所がないこと、鶏卵品質への影響不安などがあげられた。

【今後の対応】

- 名古屋コーチンとその他の鶏種について、飼料用米給与の影響を引き続き調査する。
- 飼料用米給与についてインターネット調査を実施する。
- 飼料用米育ちの鶏卵の情報発信方法を検討する。